

## 商学会賞受賞報告

第12期 羽佐田 智也

### ◆投稿論文の概要

投稿論文のタイトルは、「環境配慮型製品の購買行動を促す訴求方法——ベネフィットと社会規範に着目して——」です。近年、人々の環境意識の高まる中、薄型ペットボトルを用いた「い・ろ・は・す」に代表されるように、環境に配慮しているという点に特徴を持つ製品（環境配慮型製品）が見られます。「い・ろ・は・す」は、薄型ペットボトルを大きな特長として訴求し、大ヒットしました。本論文では、「い・ろ・は・す」の例のように、「消費者に対して、環境配慮型製品の購買行動を促すには、どのような訴求方法が効果的なのだろうか？」という問いを立て、それに解答すべく、人々に環境配慮行動を促す効果的な訴求方法およびそれらの訴求方法が効果的に機能する条件を探究した既存研究の知見を援用すると同時に、消費者に環境配慮型製品の購買促す訴求の場合にのみ存在し得る、商業的動機をもつメッセージ発信者（売手である企業）の存在を考慮することで、消費者に環境配慮型製品の購買行動を促す効果的な訴求方法およびそれらの訴求方法が効果的に機能する条件を探究しました。

### ◆商学会賞を受賞して

この度、私の投稿論文が、審査を無事に通過し、商学会賞を受賞すると共に、『三田商学研究学生論文集2015年度号』に掲載されることになりました。小野先生はもちろんのこと、先輩・同期・後輩、多くの方々にお世話になりました。この場を借りて改めて御礼申し上げます。本当にありがとうございました。

私は、春先から商学会賞投稿を見据えて卒業論文の執筆を始め、今年度の商学会賞に投稿しました。昨年度の三田祭論文では惜しくも審査を通過できず、非常に悔しい思いをしたので、今回、商学会賞受賞・掲載の榮譽に浴することができたことを大変に嬉しく思います。卒業論文は、1年間かけて執筆しますし、無計画にのんびりとしてしまいがちですが、商学会賞を目標に据えたことで計画的に取り組むことができました。卒論のペースメーカーの意味もあったのではないかと考えています。

13期は、小野ゼミに入会するに際し、「学生時代にこんな勉強を頑張った！と言えものがほしい」という志望動機を挙げてくれた人が多かったように記憶しています。そんな13期の皆さん、商学会賞に挑戦すると、商学会賞受賞という榮譽や副賞である賞金を得られるチャンスがあります。卒論のモチベーション管理をしやすくなります。メリットはまだまだたくさん浮かびますが、デメリットは特に思い浮かびません。学生時代の勉強の集大成に、是非とも商学会賞に挑戦してみたいかがでしょうか。来年度の商学会賞受賞報告を楽しみにしています。